



# 医療連携ニュース



2021年12月号

発行 東海大学医学部付属八王子病院 患者支援センター 医療連携室 TEL:042(639)1114 FAX:042(639)1115

寒気の候、貴施設におかれましては益々ご繁栄のこととお慶び申し上げます。  
平素は、当院の運営にご理解とご助力を賜り、また、多数の患者様をご紹介いただき、厚く御礼申し上げます。  
このたび、東海大学医学部付属八王子病院医療連携ニュース2021年12月号を発行いたしました。  
先生方が、ますます当院との医療連携を深めていただき、一助となれば幸いです。

患者支援センター長 向井 正哉、医療連携室長 角田 隆俊

## 当院脳神経外科の医療体制 心原性塞栓症に対する血栓回収療法



脳神経外科医長 教授 小田 真理 医師

### 【専門分野】

脳血管障害(脳動脈瘤、脳動静脈奇形、硬膜動静脈瘻、内頸動脈狭窄等)、三叉神経痛、顔面痙攣

### 【専門医・認定医】

日本脳神経外科学会専門医、日本脳卒中の外科学会技術指導医、日本脳卒中学会指導医

当院脳神経外科は、下田教授を中心に計6名の脳外科医で24時間体制で診療に取り組んでいます。私自身は、12年前より当院に勤務し、脳血管障害(脳動脈瘤、脳動静脈奇形、硬膜動静脈瘻、内頸動脈狭窄等)、脳腫瘍(良性及び悪性腫瘍)、機能的脳神経外科(三叉神経痛及び顔面痙攣)を中心に全ての脳外科的領域の手術を行っています。これら脳神経領域の根治術には、切開を加える開頭術と脳血管内手術があり、両アプローチの利点及び欠点を充分理解し、両方の手術が施行可能な医師(脳腫瘍担当:今井講師、血管障害担当:私及び長田講師、青木講師)が、患者さんにとって最良の治療を提案しています。最近MRI等の画像診断の進歩で、未破裂脳動脈瘤や頸部内頸動脈狭窄の症例に加え、硬膜動静脈瘻や脳動静脈奇形の手術も多くなっております。

最近のトピックスは、急性期脳梗塞(特に心原性脳梗塞)の治療で、ここ数年でのエビデンスの確立によって治療法の見直しや進歩があり、その状況は大きく変化しています。現在、脳卒中治療ガイドライン2021では、発症早期の脳梗塞では、内頸動脈または中大脳動脈M1部の急性閉塞症例に対し、t-PA静注療法を含む内科的治療に追加して、発症から6時間以内にステントリトリバー又は血栓吸引カテーテルを用いた機械的血栓回収療法を開始することが勧められている(推奨度A エビデンスレベル高)。更に、最終健常確認時刻から6時間を超えた症例でも、神経徴候と画像診断に基づく治療適応判定を行い、最終健常確認時刻から16時間以内に機械的血栓回収療法を開始することが勧められています。(推奨度A エビデンスレベル高)。また、16~24時間以内に同療法を開始することは妥当である(推奨度B エビデンスレベル中)となり、機械的血栓回収療法の適応のtime windowが広がっています。また、私は、技術力の高いベンチャー企業と組み、3年半で約1400回の血栓回収実験を行い、日本初2018年12月に製造承認されたステント型血栓除去デバイス(Tron FX)の開発に携わり、積極的な治療に取り組んでいます。

最後に、私は、東海大学脳神経外科教室のおかげで、7千例以上の脳神経外科手術を経験させて頂いたことに感謝し、この技術を基に、高い向上心を保ち、その他の医療従事者とともに、近隣の皆様のお役に立てるように精進する所存です。

今後ともご指導ご鞭撻の程よろしくお願いたします。

X線血管撮影装置Innova IGS 630



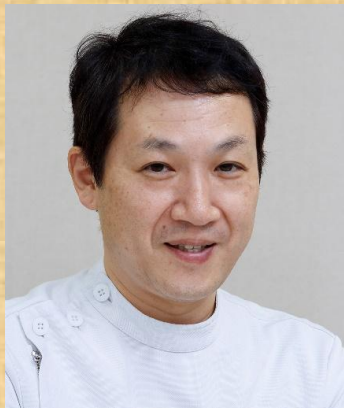
血栓除去デバイス

TronFX

2018年12月に承認



## 当科の診療の特徴について ～一般泌尿器科診療から特殊診療まで～



泌尿器科医長 教授 座光寺 秀典 医師

### 【専門分野】

副腎腫瘍、腎腫瘍、下部尿路機能障害(排尿機能障害)、  
泌尿器腹腔鏡下手術、尿路再建手術

### 【専門医・認定医】

日本泌尿器科学会 専門医 指導医、泌尿器腹腔鏡技術認定医  
日本内視鏡外科学会技術認定医、日本内分泌外科認定医  
日本がん治療認定医、日本ロボット外科学会専門医

皆様には平素より多大なご助力を賜り深く感謝しております。

当院では現在5名の常勤医師と3名の非常勤医師で診療を担当しており、扱う疾患は多岐にわたります。膀胱がんや前立腺がんなど泌尿器科悪性腫瘍から尿路結石、前立腺肥大症や下部尿路機能障害、女性泌尿器疾患などの良性疾患まで丁寧な診療を心掛けています。

当科は低侵襲手術に積極的に取り組んでおり、腎・副腎疾患を中心に腹腔鏡下手術を行っており、やや難易度の高い腎部分切除や腎盂形成術、尿管吻合術なども実施しています。なかでも尿膜管遺残症に対する尿膜管摘除と切除後臍形成については、創部の審美面においても優れ満足される患者様が多いです。また、当院は膀胱がん症例が多く、進行がんに対する膀胱全摘除術も数多く施行し、全摘除後の尿路変更は従来の回腸導管法に加えストマが不要でQOLの面で優れている自排尿型代用膀胱も作成しています。下部尿路機能(排尿機能)障害においては、尿水力学的検査(ウロダイナミクス)で排尿状態をきちんと評価し診療方針を決めます。前立腺肥大症症例では出血の少ない前立腺核出術(TUEB)を行い、良好な治療成績が得られています。

尿路結石治療については従来の体外衝撃波結石破砕術、経尿道的破砕術に加え、治療が困難であった大きな腎結石や尿管結石に対する経尿道的結石破砕術補助下経皮的尿管結石破砕術(ECIRS)を開始しました。結石のサイズや硬度により複数回の治療を要することもあります。確実に安全に実施しています。そのほか精索静脈瘤に対する顕微鏡下手術や尿道損傷、尿管損傷に対する尿路再建手術、女性骨盤内性器脱に対する腹腔鏡下仙骨隆固定術などややマイナーな手術にも取り組み、当院より規模の大きな病院からご紹介していただくこともあります。

このように当科では一般的な疾患からやや希少な疾患まで扱っており、できる限り患者様や先生方のご要望に応えられるように対応しています。ご遠慮なくご紹介ください。



腎結石に対する結石破砕手術(ECIRS)

## 医療連携室からのお知らせ

当院では、午前8時から11時までに来院された初診患者様は、予約の有無にかかわらず診療いたします。(一部の診療科を除く)

ご紹介におかれましては、紹介状を作成いただき、当日に持参いただければ幸いです。なお、従来の事前予約による診療も行っております。

診療受付時間: 月曜日～金曜日、第2・4・5土曜日 8:00～11:00

休診日: 日曜日・祝日、第1・3土曜日、11月1日(建学記念日)、12月29日～1月3日

医療機関専用ダイヤル 042-639-1114

平日8:30～16:30、第2,4,5土曜日 8:30～14:30

医療機関専用ファックス 042-639-1115

24時間対応 \* 受付時間以降の受信は、翌日対応となります。

一般ダイヤル 042-639-1111(代表)

平日8:30～16:30、第2,4,5土曜日 8:30～14:30